

# 令和8年度海部地方総合防災訓練

<今年度訓練テーマ>

～地域の団結を防災の力に～



- 開催日時 : 令和8年6月7日(日) 午前8時40分から11時30分まで(予定)
- 開催場所 : 国営木曾三川公園 東海広場(愛西市)
- 主催 : 海部地方防災連絡会議・海部地区水防事務組合
- 参加機関 (順不同・敬称略)

愛知県、愛知県警察、海部地域各市町村〔消防団(水防団)、婦人会、赤十字奉仕団、女性の会、女性(婦人)消防クラブ、社会福祉協議会、中学生〕、海部地域5常備消防本部・消防署、陸上自衛隊第35普通科連隊、名古屋市(消防航空隊)、国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所、名古屋地方気象台、日本赤十字社愛知県支部、中部電力パワーグリッド(株)、NTT西日本(株)、(一社)愛知県LPガス協会西部支部海部北分会/同南分会、海部地域5危険物安全協会、愛知県海部農業土木研究会、愛知県津島土木研究会、(一社)津島市医師会、(一社)海部医師会、津島市歯科医師会、海部歯科医師会、(一社)津島海部薬剤師会、愛西コミュニティハムクラブ、弥富防災ハムクラブ、(特非)愛知県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの会、あいち防災リーダー会海部ブロック、津島市民病院、あま市民病院、愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院、海部南部水道企業団、西尾張シーエーティーヴィ(株)、あいち海部農業協同組合、三菱自動車工業(株)、(株)e6s

※ 訓練中、撮影した写真を広報で利用する場合があります。あらかじめ御了承ください。



令和8年度海部地方総合防災訓練  
実施細目

実施時間	訓練項目	訓練内容	実施機関等	
<b>●開会</b>				
1	8:30～8:40	○集合整列	・訓練参加者は本部席前の集合線にある中隊名のプラカード位置に、各訓練中隊ごとに整列する。 ・訓練部隊長の紹介・あいさつ及び副部隊長の紹介。	・訓練参加者
2	8:40～8:45	○開会式	・訓練部隊長は訓練本部長に対し人員報告を実施する。	・訓練参加者
3	8:45	○訓練開始宣言	・訓練の開始を宣言する。（訓練開始ラッパ）	・海部地区水防事務組合、蟹江町消防団ラッパ隊
<b>●水害対応訓練</b>				
1	8:45	○台風・高潮情報提供	・台風及び高潮に関する気象情報の提供。	・名古屋地方気象台
2	8:46～47	○河川バトロール	・木曾川の増水による大出水に備えて河川バトロール車により堤防を巡視する。	・海部建設事務所
3	8:48～49	○アマチュア無線による非常通信	・災害状況報告及び災害現場からの応援要請の非常通信訓練を行う。	・弥富防災HAMクラブ、愛西コミュニティHAMクラブ
4	8:50～8:55	○避難誘導	・バトカーを先導にして、警察官と消防団員による誘導と教師の引率のもと、中学生を安全な場所へ避難させる。	・津島警察署、消防団、中学生
5	8:55	○訓練開始指示	※訓練開始ラッパ	※訓練本部にて消防団が実施
6	8:55～9:30	○土のう作り・土のう積み体験	・消防団の指導のもと、中学生は土のう作りと土のう積み体験する。	・消防団、市町村、中学生
7	8:55～9:30	○水防工法（改良積み土のう工）	・堤防天端にシートや土のうを組み合わせて積むことにより、越水を防ぐ。（漏水防止）	・海部建設事務所、市町村、消防団
	8:55～9:30	○水防工法（月の輪工）	・堤防のり面によりかかり、半円形に積み土俵にすることにより、漏水口の拡大を防ぎ、堤防の決壊を防止する。（漏水防止）	・海部建設事務所、市町村、消防団
	8:55～9:30	○水防工法（釜段工）	・堤防裏小段や堤防から離れて湧出する噴出口を中心に土のうを積み、水の噴出を止めることにより、堤防の決壊を防止する。（漏水防止）	・海部建設事務所、市町村、消防団
8	8:55～9:30	○舟艇組立	・FRP製及びアルミ製ボート（舟艇）の組立訓練を行う。	・消防団
9	8:55～9:45	○内水排除	・河川堤防越水や集中豪雨等により出水した場合、強制排水を行うため、国土交通省排水ポンプ車の運転操作を行う。 ・たん水防除訓練と連動（水の循環方式）させた実動訓練を海部農林水産事務所と合同で実施する。	・国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所
		○たん水防除	・その他、夜間の水害対応や地震対応で必要となる照明車を展示する。 ・集中豪雨や地震等により出水した場合、たん水被害を受けた地域の強制排水を行うため、応急対策用可搬式排水ポンプを搬入し、運転操作を行う。 ・内水排除と連動させた実動訓練を国土交通省木曾川下流河川事務所と合同で実施する。	・海部農林水産事務所、愛知県海部農業土木研究会
<b>●地震対応訓練</b>				
1	9:10～9:11	○シェイクアウト訓練	・シェイクアウトの基本行動を説明後、緊急地震速報のブザー音と音声ガイダンスを合図に地震から身を守る安全行動の1-2-3を実施する。	・訓練参加者全員
2	9:12	○地震情報提供	・地震に関する情報の提供。	・名古屋地方気象台
3	9:14～9:15	○アマチュア無線による非常通信	・災害状況報告及び災害現場からの応援要請による非常通信訓練を行う。	・弥富防災HAMクラブ、愛西コミュニティHAMクラブ
4	9:00～10:00	○初期消火（LPガス・油）	・県LPガス協会西部支部及び海部地域の危険物安全協会の協力を得て、消防団員及び婦人会等は消火器を使用し、プロパンガスに係る初期消火活動を実施する。 ・油火災については、注意すべき点を訓練の中で説明する。	・県LPガス西部支部海部北・南分会、海部地域5危険物安全協会 消防団、中学生、婦人会等
5	9:16～10:00	○応急電話架設	・大規模地震や豪雨等の災害により通信が途絶えたことを想定し、ポータブル衛星車の衛星通信を利用した特別公衆電話の開設を実施する。	・NTT西日本株式会社（東海支店）
6	9:18～10:00	○避難所応急復旧	・大規模地震発生時は電柱倒壊や高圧線断線により停電が発生し、この復旧には一定の時間がかかることが想定される。 ・このような状況下で、人が多く集まる避難所の機能を確保するため、高圧発電機車を利用して応急送電を実施する。	・中部電力パワーグリッド株式会社（津島営業所）
7	9:20～10:00	○保健医療活動連携訓練	・津島保健所に設置された保健医療調整会議では、県庁の保健医療調整本部（仮想）との連絡、並びに不足する医薬品の供給要請を行う。 ・災害現場から救出された負傷者を現場救護所において派遣された津島市民病院医療救護班（DMAT）が容態別にトリアージ（トリアージタグは、津島市民病院に持参を依頼）し、対応する医療機関（仮想あま市民病院及び仮想海南病院（DMAT））に地元消防団員が担架等により搬送する。搬送先の医療機関では再度トリアージし、必要な処置を行う。 ・軽症者を受け入れる医療機関は市町村地域防災計画に基づき市町村が開設（7自治体合同）する医療救護所を仮設し、医師会、歯科医師会及び薬剤師会から派遣された救護班により再度のトリアージの後、処置や投薬を行う。（市町村災害対策本部も7自治体合同とする。） ・大規模災害時には死者が出た場合、市町村防災計画に基づき遺体安置所が開設される。安置所では警察官や医師による死因の調査に加え、身元の調査が行われる。今回の訓練では、歯科医師会に運営を一任のうえ、身元調査の一つとして歯型調査等を実施し、身元確認の体制強化を図る。 ・なお、X市災害対策本部は、遺体安置所と連携等を図るために必要となることを、市町村防災計画に基づき検討する。	・津島保健所、海部地域7市町村、津島市医師会、海部医師会、津島市歯科医師会、海部歯科医師会、津島海部薬剤師会、津島市民病院、あま市民病院、海南病院、消防団、婦人会等
8	9:00～10:00	○心肺蘇生	・心肺蘇生練習人形を使用して、消防団員、婦人会等に対し、幼児と成人の心肺蘇生の指導を実施する。	・日本赤十字社愛知県支部、消防団、婦人会等

	実施時間	訓練項目	訓練内容	実施機関等
<b>●その他災害時対応訓練（水害・地震共通事項等）</b>				
1	8:55～10:10	○炊き出し	・避難住民への食事供給のため、大釜で「にゅうめん」の炊き出しを行う。	・県LPガス協会西部支部海部北・南分会、消防団、中学生、婦人会等
2	9:10～10:30	○災害ボランティアセンター開設初動対応訓練	・災害発生後の対応を想定し、災害ボランティアセンターの開設準備や災害ボランティアの受け入れといった初動対応訓練を実施する。 ・また、海部地域のボランティアコーディネーターや社会福祉協議会職員にも参加を募り、標準的な災害ボランティアセンターの初動対応を体験する機会とする。	・愛知県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの会、弥富防災ハムクラブ、愛西コミュニティハムクラブ、海部地域社会福祉協議会・ボランティアコーディネーター、中学生
3	9:20～9:25	○給水訓練	・被災地域に飲料水を供給するため、給水車による給水を行う。	・海部南部水道企業団
4	9:25～10:00	○緊急物資の輸送	・緊急物資の車両輸送と物資の配布を行う。 ・災害ボランティアセンターから派遣された中学生は、緊急物資「あいちの水」の配布を行う。	・あいち海部農業協同組合、中学生
<b>●特別訓練</b>				
1	10:10	○訓練開始指示	※訓練開始ラッパ	※訓練本部にて消防団が実施
	10:10～10:15	○被害状況偵察	・車両により地震による被害状況の偵察を行う。	・陸上自衛隊
	10:15～10:25	○道路啓開	・瓦礫で通行不能となった主要道路を想定し、重機と人により瓦礫を取り除き、緊急車両を通行させるための道路啓開訓練を行う。	・東津島土木研究会
	10:25～10:55	○大規模災害訓練（救助・救急訓練） ○大規模災害訓練（消火訓練）	・海部地域常備5消防署をはじめとする各関係機関が、災害現場において連携して救助、救急、消火活動を展開して総合的な訓練を行う。 ・消火隊は、周辺建物から発した火災を消火鎮圧する。	・海部地域常備5消防署（当番：海部東部消防本部）、津島警察署、蟹江警察署、災害警備犬部隊、津島市民病院、海南病院、陸上自衛隊、名古屋市消防航空隊、消防団、婦人会
<b>●啓発展示等</b>				
1	8:45～随時	○地震体験車・煙体験	・地震体験車を使用して訓練参加者等に地震を体験してもらい、地震の恐ろしさや備えについて学習してもらう。また、煙体験ハウスを使用して、火災時の煙についても体験してもらう。	・海部地域5危険物安全協会、中学生等
2	8:45～随時	○陸上自衛隊車両等の展示・啓発展示	・陸上自衛隊が装備している車両等の展示及び災害派遣に係わる啓発展示を行う。	・陸上自衛隊
3	8:45～随時	○愛知県警車両等の展示	・愛知県警察が装備している車両等の展示を行う。	・愛知県警察
4	8:45～随時	○災害対策の展示	・災害対策に必要な工具類の展示や、避難所に入ることができない等で乗用車に泊まる際、必要な物品等の展示・説明を行う。	・あいち防災リーダー会海部ブロック
5	8:45～随時	○防災啓発・新たな防災気象情報	・令和8年の出水期から運用が始まる新たな防災気象情報について展示する。	・名古屋地方気象台
6	8:45～随時	○停電時の対応等、復旧活動パネル展示	・電気による二次災害防止のための注意点をPRするとともに、復旧活動時の写真パネルを展示する。	・中部電力パワーグリッド株式会社 津島営業所
7	8:45～随時	○給油車両の展示・防災啓発	・災害リスクに備えた展示などの防災啓発を行う。	・あいち海部農業協同組合
8	8:45～随時	○災害用伝言ダイヤルの展示	・避難者の方々の安否確認ツールである「災害用伝言ダイヤル1711」のデモ機を展示し、体験利用を実施する。	・NTT西日本株式会社 東海支店
9	8:45～随時	○災害時を想定した電動車両からの給電	・災害時を想定し、電動車両から電力供給を行い、生活に必要な家電製品を稼働する。	・三菱自動車工業株式会社
10	8:45～随時	○トイレカー展示	・大規模災害発生により、上下水道が使用できなくなった際に使用するトイレカーの展示・説明を行う。	・株式会社e6s（エシックス）、愛知県防災安全局
<b>●その他</b>				
1	7:30～9:00 11:00～12:00	○交通統制	・消防団員等は、訓練会場への堤防道路及び会場周辺の道路等において、車両の安全な誘導を行う。	・市町村、消防団
2	8:38～随時	○災害緊急放送	・海部地域のコミュニティFM放送局「エフエフななみ」により、災害放送の訓練放送としてラジオ中継車で生放送を実施する。 ・また、ケーブルテレビの「クローバーチャンネル」による訓練の取材も行う。	・西尾張シーエーティーヴィ株式会社
3	8:30～随時	○救護所	・訓練会場内での負傷者や体調不良者等の応急処置にあたる。	※訓練本部に設置
4	9:15～9:45	○訓練本部長巡視	・訓練本部長等は各訓練参加機関・団体の訓練状況を巡視する。	・本部長、副本部長、兼賓
5	随時	○ラッパ隊吹鳴	・開会・閉会、訓練開始・終了時において、消防団の礼式に従い、ラッパの吹鳴を行う。	・蟹江町消防団ラッパ隊
<b>●閉会</b>				
1	11:05～11:10	○集合整列	・訓練参加者は本部席前の集合線に中隊名のブランクを持って、各訓練中隊ごとに整列する。	・訓練参加者
2	11:10～11:30	○閉会式	・訓練本部長は訓練本部長に対し、人員等の異常の有無を報告する。訓練本部長による訓示・講評。主催者（水防組合管理者）あいさつ。来賓祝辞など	・訓練参加者
3	11:30～	○訓練終了宣言	・終了宣言後、各中隊長は編成を解く旨を指示して解散する。（解散ラッパ）	・海部地区水防事務組合

## ○ 主催者からのメッセージ

日頃からハザードマップを確認し、備蓄も進めましょう。  
また、災害ごとの避難先や避難ルートをご家族で確認し、  
もしもの時は早めの避難ができるよう、備えましょう！